

鎌倉交響楽団

第84回定期演奏会

2004年11月6日(土)

午後2時開演

鎌倉芸術館大ホール

【後援】鎌倉市教育委員会・鎌倉エフエム放送

プロフィール

指揮 / 井崎 正浩 (いざき まさひろ)



1995年第8回ブダペスト国際指揮者コンクール優勝。演奏をハンガリー国立オペレッタ劇場総裁に認められ、同年同劇場でレハール作曲《メリー・ウィドウ》を指揮、聴衆だけでなく演奏者の圧倒的支持を受け大成功を収め、センセーショナルなデビューを飾る。1996年同劇場初来日公演にも指揮者の一人として同行し、その凱旋公演は「音楽の友」誌コンサート・ベストテン'96に選ばれ、翌年の同劇場再来日公演指揮も引き続いて同ベストテン'97に選ばれるという、二年連続の快挙を成し遂げる。

ハンガリーにおいては、ハンガリー・ナショナルフィル（旧国立交響楽団）、ハンガリー放送交響楽団、ハンガリーMAV交響楽団等の主要オーケストラを次々に指揮し、どれもが高い評価を得ている。1998年9月からはツムバトハイ市・サヴァリア交響楽団の芸術監督兼常任指揮者に就任し、多彩な活動を行う。（～2001年8月）また1998年10月にはハンガリー国立歌劇場へデビューを飾って大成功を収め、引き続き2001年3月同劇場に再客演を行い、開催中のスプリング・フェスティバルでの目玉公演を大成功させる。また2000年1月には外国人として初めてブダペスト・ニューイヤークンサート（ハンガリー国立歌劇場管弦楽団）を指揮するなど、本国ではその名声を確立しつつある。録音ではミュウヴェス・ハズ社と契約し、カールマン/オペレッタ《サーカス・プリンセス》、レハール/オペレッタ《ジプシーの恋》がリリースされ、また常任指揮者を務めたサヴァリア響と2000年3月に《音楽のさざげもの》（ハンガリー・BCC社）がリリースされている。

日本では東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団等に客演。また声楽を専攻した特技を生かしオペラやオペレッタ公演にも手腕を発揮し、合唱指揮者としても日本フィルハーモニー協会合唱団の常任指揮者を務める等、幅広い活動を行っている。「題名のない音楽会」（テレビ朝日）、「深夜の音楽会」（日本テレビ）等テレビへの出演も多く、また2002年7月新国立劇場にてブッチェニ【トスカ】を指揮しデビューを果たし好評を得る。同年4月より高美学園音楽大学非常勤講師を務める。

指揮法を故安永武一郎、故カール・エステルライヒャー、ギンター・トイリング、湯浅勇治、故遠藤雅古、伊藤栄一の各氏に師事。福岡教育大学音楽科卒業、東京学芸大学大学院（作曲・指揮法講座）修了、オーストリア国立ウィーン音楽大学（オーケストラ指揮科、合唱指揮科、作曲科）に文部省派遣給費留学。

ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/tzaki-masahiro/online>

トレーナー（敬称略） ※今回の演奏会にあたり、ご指導いただきました。
大西雄二、小泉智彦、角岳史、建部敬司、平林剛、藤村俊介

鎌倉交響楽団第84回定期演奏会

Kamakura Symphony Orchestra The 84th Regular Concert

【指揮】：井崎正浩
Masahiro IZAKI, Cond.

R. シューマン：
Robert Schumann

交響曲第2番 ハ長調 作品61
Symphony No.2 in C major Op.61

I: Sostenuato assai-Allegro ma non troppo
II: Scherzo. Allegro vivace
III: Adagio espressivo
IV: Allegro molto vivace

----- 休憩 Intermission -----

M. ラヴェル：
Maurice Ravel

ラ・ヴァルス
La Valse

古風なメヌエット
Menuet Antique

ボレロ
Boléro

プログラム・ガイド

シューマン 交響曲第2番 ハ長調 作品61

シューマンといえば、「トロイメライ」に代表される歌曲や、熱愛の末に結ばれたクララ・シューマンの存在、ブラームスとの交流などのエピソードがまず思い浮かび、交響曲作品はどちらかという印象が薄く感じられるというかたが多いかもしれません。しかしいっぽうで、彼の管弦楽曲に不思議な印象と魅力を感じる人も意外に多いのではないのでしょうか。

今回私どもがとりあげました「第2番」は1846年完成、シューマンにとっては、3番目に作曲した交響曲です。これは、1841年に第1番に続いて作曲した作品の評判が芳しくなく、出版をいったん取りやめたためです（こちらはのちに書き直され、「第4番」となります）。

第2番作曲当時シューマンは35歳、いったん回復しかけた精神疾患が再発し、病と闘いながらの作曲でした。そのせいか、随所にロマン派とも印象派ともとれるような捉えどころのない響きが出てきます。また、第1楽章の序奏部と主部のコントラスト、第2楽章スケルツォと第3楽章アダージョの極端な対比など、繊細さと大胆さとを併せもち、彼が残した4曲の交響曲の中でも特に異彩の輝きをたたえた作品といえるでしょう。

《製作・修理・毛替・販売》

弦楽器 工房かわばた



TEL045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町2-77 大久保ビル2F ●営業時間/AM10:00~PM7:00 (日・祭休み)

プログラム・ガイド

ラヴェル「ラ・ヴァルス」「古風なメヌエット」「ボレロ」

近世フランスを代表する作曲家ラヴェルは1875年フランスの片田舎に生まれ1937年に没するまでに、管弦楽曲、室内楽、ピアノ曲、声楽などの多くの分野にたくさんの秀作を残しています。本日のメインを含めた後半のプログラムでは、ラヴェルの卓抜な手法、優美な旋律が印象的な管弦楽曲3曲をお送りします。

この3曲はいずれも舞曲をモチーフとした4分の3拍子、それぞれ独特の魅力に満ちた作品です。

ラ・ヴァルスは、かのディアギレフの依頼で作曲され、1920年完成したものの、結局依頼者は気に入らず、自分のバレエに採用しなかったという、いわくのある作品です。因みに同年の演奏会での初演は大成功を納めました。タイトルは英語にすれば「ザ・ワルツ」、ラヴェルの「ウィンナワルツへの敬愛とパロディ」が表現されていると言われます。

古風なメヌエットは1895年にピアノ独奏曲として作曲され、1929年には作曲家自身の熟練の技法を以て管弦楽曲に編曲されました。「古風な」というタイトルと裏腹に、意図的にずらした拍子や斬新な和声が採用されている一方で、清楚な旋律、古典回帰の旋法も見られ、これらが錯綜してめくるめく印象を与えます。

ボレロはもともとスペイン風のバレエ音楽として作曲され、初演は1928年。非常に有名な曲であるとともにクラシック音楽界で極めて特異な位置を占める一品といえるでしょう。のちにもベジャールの斬新なバレエ振付が一世を風靡しました。曲は延々と続く小太鼓のリズムに乗って主旋律がさまざまな楽器に受け継がれ、ゆるやかに盛り上がり、最後に激しいフィナーレを迎えます。(山田 克彦)

団員出演者名簿

常任指揮者：古谷 誠一 コンサートマスター：五味 俊哉 マネージャー：芥川 敬/今城 信彦
芳賀 節子/森久仁子
名譽団長：日比谷 平一郎 事務局：田中 幸一 会計：曾根 民子
団長：山本 賢二 副団長：小原 克馬/河原 寛 ライブラリアン：三門 サカエ

1st Violin

有田 静
宇多 綾子
遠藤 勝智
小原 治子
川西 清美
●河原 寛
榎本 圭三
●五味 俊哉
五味 晶子
菅井 直介
鈴木 垂矢子
高橋けい子
堀田 昌希
油谷 伸一

2nd Violin

新井 俊成
石橋 智子
井上 康男
大谷多満江
大野 孝士
重兼 文恵
●白水 千晶
曾根 民子
●高橋 良子
蛸島 茂樹
富岡 陽子
中橋美木子
中村 順子
芳賀 節子
馬場 潔子
山岡 祐介

Viola

茂島 純子
小原 克馬
佐々木敏史
笹尾 英昭
清水 正義
中川 孝之
中村 恵
日比谷平一郎
正木 基身
●水上 清
宮下 重美

Cello

●飯田 達男
鈴木 達広
田中 幸一
中井 良樹
中野太一郎
●西山 優子
佐藤 洋子
重兼 寿夫
尾崎 彩

Bass

梅沢 定彦
中村 安孝
丸 陽子
渡辺 均
矢野 健
大内 達郎
佐藤 正
●原 宏造

Piccolo&Flute

菊川 秀夫
曾根 美樹
●高橋 弘子
山田美奈子
吉田 龍夫

Oboe

●桑野 若菜
中橋 英純
山崎 一哉
※山田 幸弘
山本 賢二

Clarinet

伊澤 力
内田千枝子
片山真知子
鈴木 美緒
●前沢 実

S.Saxophone

※近藤 仁史

T.Saxophone

※川島 雅

Bassoon

鹿倉 健太
松本 祐子
三原 一真
●矢吹 紀子

Horn

●菊川 敬
白井 賢司
芳賀 明子
福地 垂希
宮崎 敏幸
山崎 和之
山田 克彦

Trumpet

清水 里美
津金 勝枝
※平林 剛
●福地 稔栄
※本多 豊太

Trombone & Tuba

有賀 功
●桜井 貴志
府川 創作
○塚塚さえ子

Percussion

明村 直美
※石井 飛鳥
今城 信彦
●太田 純
●鈴木 真吾
窪田 俊之

Harp

※杉山 敦子
※藤本 沙織

Celesta

※村上 衣美

●シニアリーダー

○団友

※賛助出演

世界で一番小さいデパート



アトリエ K&T

古布ちりめんの香袋など
オリジナル商品、かわいいの、素敵なのも、
両手いっぱいになります!

営業時間/11:00~17:00 定休日/月、火曜日
〒248-0003 鎌倉市浄明寺3-2-27 TEL.0467-22-2615



フリーダイヤル 0120-50-2615
http://homepage3.nifty.com/k-t/

(有)関口調剤薬局

本店 横須賀市上町2-3
tel.046-824-5885
fax.046-824-9795

支店 横須賀市上町2-20
tel.046-826-2350
fax.046-826-2301

URL:
http://sekiyuchi-pharmacy.co.jp

鎌倉交響楽団 演奏会のご案内

♪ 第38回室内楽演奏会：

- ・日時：2005年2月19日(土)14時開演予定
- ・場所：鎌倉芸術館 小ホール
- ・入場料：無料
- ・曲目：小編成のアンサンブルを予定しています。

♪ 第3回ファミリーコンサート：

- ・日時：2005年3月12日(土)14時開演予定
- ・場所：鎌倉芸術館 大ホール
- ・入場料：¥1,000- (全自由席・当日券有 予定)
- ・指揮：角 岳史
- ・曲目：インスタントコンダクターなど、楽しい企画でいっぱいです。

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2
(0のピアスB1)
TEL.(0467)22-4105
茅ヶ崎市中海岸1-1-58
(大船ビル1F)
TEL.(0467)87-1145

和風居酒屋 花のれん

▷ 営業時間 ◁

平日 PM4:30~AM12:00 休日 休
PM6:00~AM12:00

大船日・元旦 休業

☎(0467)46-0080



信頼と確かな技術の店

メガネの専門店

八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネの事ならなんでも相談
お気軽に。

- 遠中近多焦点レンズ
- 中近多焦点レンズ
- 近近用レンズ

あなたに合ったメガネ
を御調整致します。



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689
(22) 8963

健保・労災取扱

大船
接骨院

佐藤元一

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

☎0467(45)6700代

輸入楽譜専門店

速い・安い・親切…

全国でご利用いただけます。



KAMAKURA
MUSIC

カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766
FAX.0467-22-9755

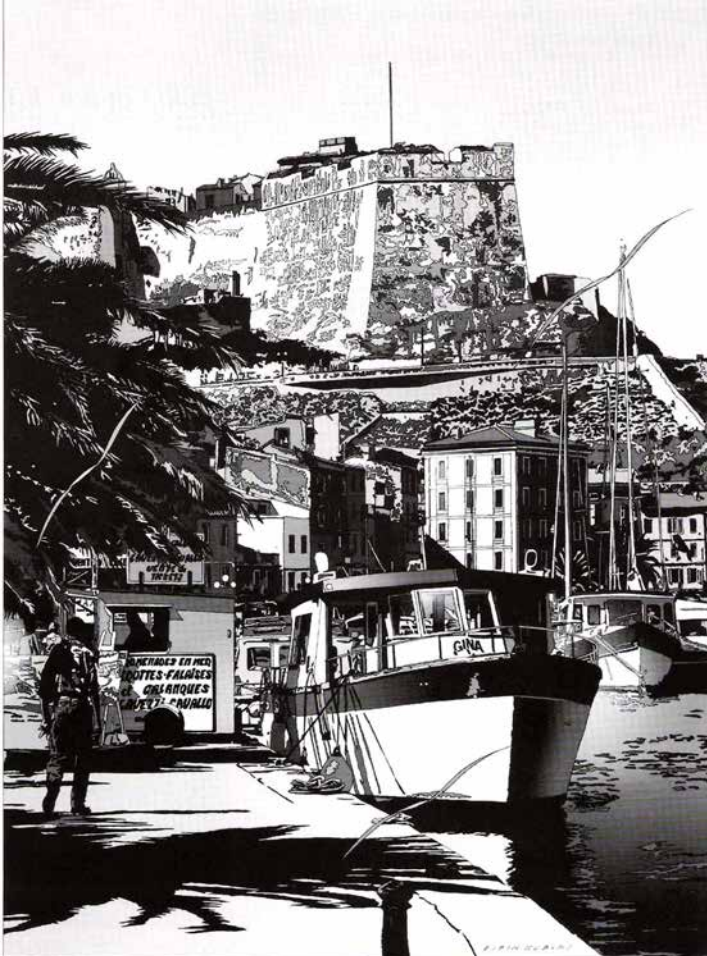
〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-1-33 (B)事務所
e-mail: info@kamakura-music.com
定休日：水・祝祭日

クラリネット

レッスンしてみませんか？
(フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307
川下方 TEL. 045-865-4885
片山クラリネット教室



© EIZIN SUZUKI

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壺番館ビル3階 院長 芋川英紀

電話 (24)7273

SHONAN

湘南信用金庫